

本年度（平成30年度）の学校評価

本年度の 重点目標	さまざまな場面を通じて、生徒が自主的な学習者となることができるよう、教科及び分掌で創意工夫する。		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
保護者・同窓会との連携 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に対し、本校教育活動への更なる理解・協力を得るため、PTA活動への積極的参加を呼びかけ、役員中心の運営を目指す。また職員との連携の強化を図る。 名南地区PTA研修会での活動発表を成功させるために、PTA各種委員会との連携を図る。 保護者懇談会の更なる改善を図る。 ホームページの充実を図る。 同窓会の充実・発展への支援をする。本年度は総会開催年にあたるため、円滑に開催できるように準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> PTA委員会で各活動への積極的参加を依頼するとともに、きずなネット、ホームページなどを通してPTA活動の積極的発信をする。保護者のニーズに合った研修会を実施する。 PTA委員による評価を行い、結果をできるだけ反映させるようにする。 同窓会の役員中心の活動を、積極的に支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動に積極的な参加ができる雰囲気を作る。 HP、広報誌「みな美」等を通してPTA活動の広報、発信についてのさらなる理解・協力を得、連携の強化を図る。 PTAや同窓会との連携・協力体制をより一層深める。 同窓会総会を役員中心に行ない、平成30年度総会の積極的な開催を促す。
学習指導 (教務部)	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上につながる家庭学習の取組について。 次期学習指導実施に向けた教科科目の研究。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の質的向上を図るとともに、生徒が予習・授業・復習のサイクルを確立できるよう指導内容・指導方法について工夫をする。 長期休業中等の課題の量及び質の適正化を検討する。適切な学習課題を与えながら、自主的に学ぶ姿勢の確立・習慣化を図る。 2020年度からの次期学習指導要領の研究を始めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 高校生活実態調査の結果を生徒にフィードバックする。 長期休業中の学習計画を具体的に立てさせ、学習についての指導・助言を充実させる。 教科主任会、教科会、学年会との連携を密にし、成績不振の生徒・欠課の多い生徒の状況把握と早期の対処に努める。
進路指導 (進路指導部)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路意識を喚起し、各自が自立した進路選択ができるように導く。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に適した進路ガイダンスを実施し、生徒が各自の将来の目標に向けた進路実現を達成できるよう指導する。また、各学年の要望を把握し、適切な情報を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年と連携をとり、適切な資料を提示し、生徒の進路意識を喚起する。 職場インターンシップや、大学の研究講座などを、学年進路掲示板に随時提示し、全生徒の意識を高めるよう努める。 2020年度の大学入学共通テストに向

		<ul style="list-style-type: none"> 各学年に、長期休暇で実施される職場インターンシップや、大学で開催される高校生向けの学習講座などを積極的に紹介し、知的好奇心を高めるとともに、職業を見据えた大学進学等の意義を考えさせる。そのために今年度は、進路で厳選したインターンシップや大学の学習講座等を、各学年の担任会で提示し、担任を通して生徒に紹介していただく。 	<p>け、全職員と情報共有し、対応を検討すると同時に、保護者、生徒には正確な情報を提示する。</p>
生徒指導 (生徒指導部)	<ul style="list-style-type: none"> 規律ある生活習慣の確立と定着 	<ul style="list-style-type: none"> 年6回の「身だしなみ指導」を実施 遅刻防止のための「校門立ち番指導」を実施 スクールカウンセラー（SC）の設置と連携、ソーシャルワーカーの仕事の理解を図る。 高校生活実態調査を活用し、いじめ等の問題を把握する。 生徒指導部による、企画運営の講話や全体集会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学年会と協力し、段階をおった指導を日常的に粘り強く行う。 制服を自ら端正に着用するよう指導の工夫を図り、自己指導力を定着させる。 校門遅刻3回で3日間の早朝登校（8:10）を課し、生活のリズムを整えさせる。 SCとの連携による教育相談の充実を図る。 生徒に対し、毅然と受容のバランスを念頭においた指導の実施
図書館活動 (研修部)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の利用促進と生徒の読書意欲の向上 授業研修週間の有効な活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書資料の充実と、読書・学習の場としての環境整備をさらに推進する。 図書委員会の機能的な活動をサポートする。 授業研修週間の設定し教職員へ周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館利用者の増加に向け、行事・掲示・宣伝の工夫に努める。 調べ学習や、発展学習に役立つような選書をし、スムーズに処理ができるよう館内整備に努める。 図書委員の各係活動を細分化し、主体的に活動できるように指導する。 授業研修週間が他の現職研修への契機となるよう配慮する。
特別活動 (特別活動部)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 執行部会・各種委員会の活性化及び定例日の活用 生徒会執行部、各種委員会による行事の企画・運営とそのため組織作りおよび生徒会会則の見直し 生徒会室の整備、資料・記録の整理 ボランティア活動の企画、運営 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会執行部と各種委員会の連携を密にし、各種行事において組織的な活動ができるように指導・助言する。 生徒議会・各種委員会の運営を生徒自身で行えるようにサポートする。 資料・記録を整理できるような環境を整え、生徒間で引き継ぎをできるように援助する。 生徒会行事・ボランティア活動の充実を図るために活動内容・方法を工夫する。

<p>美化活動（ゴミ分別回収の徹底と清掃の充実） （保健部）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10分間清掃の充実。 ・校外から持ち込んだものは極力持ち帰るように働きかける（ゴミの減量化）。 ・ゴミ分別に対する意識をさらに高める。 ・トイレ環境の整備・美化と、その維持に努める。（トイレの正しい利用方法の普及・徹底と清掃の充実） 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別回収に対する生徒及び教職員の意識高揚のため、掲示物を整備し、呼びかけを充実させる。 ・現場（教室）での分別回収を徹底する。 ・年間に美化委員会を数回開き、委員の仕事を徹底させる。 ・生徒（特活部）に働きかけ、生徒の自主活動を通じて美化意識を高めていく。 ・外庭清掃時の移動を早くすると同時に、靴の履き替えを徹底する。 ・校門付近で配られるチラシ・パンフレット類の受け取りについての指導を徹底させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美化委員会の開催を通じて、各クラスでの問題点、改良点などの情報交換を充実させる。 ・紙類を含め、すべてのゴミの分別に関して、根気よく継続的に啓発する。
<p>学校運営 （教頭）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の業務の効率化を考えて、多忙化解消につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内で業務整理検討委員会を立ち上げ、業務の整理を図り、業務効率を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会を通じて、現状の把握に努め、教職員の協力、連携を密にして、多忙化解消を教職員全体で考え、長時間労働による健康障害防止に配慮する。

(4) 前年度の学校評価

ア 自己評価結果等

<p>前年度の 重点目標</p>	<p>さまざまな場面を通じて、生徒が自主的な学習者となることができるよう、教科及び分掌で創意工夫する。</p>		
<p>項目（担当）</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>評価結果と課題</p>
<p>保護者・同窓会との連携 （総務部）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対し、本校教育活動への更なる理解・協力を得るため、PTA活動への積極的参加を呼びかけ、連携の強化を図る。 ・保護者懇談会の更なる改善を図る。 ・ホームページの充実を図る。 ・同窓会の充実・発展への支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA委員会で各活動への積極的参加を依頼するとともに、ホームページなどを通してPTA活動の積極的発信をする。保護者のニーズに合った研修会を実施する。 ・PTA委員による評価を行い、結果をできるだけ反映させるようにする。 ・同窓会の役員中心の活動を、積極的に支援する。 	<p>本年度の総務関係の行事等は、ほぼ予定通りに終了することができた。来年度に向けて継続をしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式典関係は生徒の協力も有り、静寂の中で適切に進行することができた。 ・PTA総会は学年別懇談会も含め、概ね良好に終了することができた。参加者は例年並（250名程度）であった。 ・PTA委員会は役員・委員の協力のもと予定時刻を大幅に短縮できた。準備を確実にし、次年度につなげたい。 ・PTA各種行事は若干参加者が減少したが、内容は盛会で参加者の感想も良好であった。募集方法をうまく行いたい。 ・保護者懇談会は本校校舎での実施となっ

			<p>たが、大きな混乱もなく、多くの参加者のもと盛会に終わることができた。参加者に父親が増えてきたので、今後も継続をしていけるように案内をしていきたい。保護者アンケートは学習面・進路面・施設面に多少のご意見をいただいたが、概ね好意的な結果であった。各分掌で反映をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は同窓会の総会を行わない年度であったので、理事会を開催し、同窓会会計の監査等を実施する予定である。 ・ホームページの更新は、適切な時期に実施ができた。来年度も続けていきたい。
学習指導 (教務部)	授業を基本とし、家庭学習の定着を図り、基礎学力の充実及び向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の質的向上を図るとともに、生徒が予習・授業・復習のサイクルを確立できるよう指導内容・指導方法について工夫をする。 ・授業と家庭学習(休日・長期休業中を含む)が効果的に結びつくよう、適切な学習課題と学習方法を示し、家庭学習の習慣化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の家庭学習時間は、生徒の目標が明確であり、増加してきた。 ・1・2年生は、学期を追うごとに部活動との両立ができていない生徒とできていない生徒の成績や家庭学習時間の差、さらに意識の差が広がってきている。 ・スマートフォン等の利用の仕方を継続的に指導し、時間の使い方についても工夫させる。 ・学習と部活動との両立を目指し、明確な目標を持たせながら、粘り強く指導を継続する。 ・長期休業中の課題や日常の宿題がどの程度できているかを詳しく検討し、生徒の達成感や充実感、さらに学力の定着につなげる指導を目指す。 ・内規の見直しに着手した。時代と生徒の変化を見ながらも、名南生としての学力水準を伸ばすことを考えていく。
進路指導 (進路指導部)	生徒の進路意識を喚起し、各自が自立した進路選択ができるように導く。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年に適した進路ガイダンスを実施し、生徒が各自の将来の目標に向けた進路実現を達成できるよう指導する。また、新たに外部講師等による進路講話の実施を検討する。 ・各学年に、長期休暇で実施される職場インターンシップや、大学で開催される高校生向けの学習講座などを積極的に紹介し、知的好奇心を高めるとともに、職業を見 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場インターンシップ参加人数は、「一日看護体験」に7名、「薬剤師体験」に5名、「臨床工学技士体験」に2名、「男女共同参画」に2名と合計19名(昨年14)であった。昨年より増加した。傾向としては、医療系が増え、最近減少傾向にあった幼稚園体験は0であった。来年度は、計画的に担任会で提示していきたい。 ・2、3年生対象の、オープンキャンパス、大学の学習講座等への参加人数調査結果では、オープンキャンパス:2年165名(昨年130)、3年190名(昨年212名)。学習講座:2年34名(昨年34)、3年37名(昨年50)という結果であった。顕著な点は、オープンキャンパスでも3年生は若干減

		<p>据えた大学進学等の意義を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路の各データを、職員が共有でき、進路指導に生かせるように努める。 	<p>ったが、3回以上参加した生徒45名(昨年35)と、複数の大学に参加した生徒が増えた。各学年の先生方の呼びかけが功を奏している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も1年生の探究の授業で大学模擬講義体験を実施し、満足度は高かった。この模擬授業体験が3年になって大学の学部選択の一助になっている生徒もいる。 ・1年生の探究の授業の大学学問分野調べに入る前に、類型選択ガイダンス時に進路ガイダンスを実施したが、大学入試等の話をするには、少し時間が足りなかつたので、時間の確保について来年度は検討したい。 ・2年目になるが、3年生対象に、3大学の入試説明会を11月に校内で実施した。延べ人数が立命館44名、南山104名、名城114名と多くの生徒が、各大学の説明を真剣に聞いていた。 ・来年度は2020年度の大学入学共通テスト、調査書等の変更に向け対応を検討する。
<p>生徒指導 (生徒指導部)</p>	<p>規律ある生活習慣の確立と定着</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年6回の「身だしなみ指導」を実施。 ・遅刻防止のための「校門立ち番指導」を実施。 ・スクールカウンセラー(SC)の設置と連携。 ・生徒指導部による、企画運営の講話や全体集会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる教育活動の場面において、生徒の自己指導力を育む積極的生徒指導を意識し、実践していく。 ・遅刻の原因を究明し、対策を取っていく。身だしなみ指導や遅刻指導での教員間の共通理解の徹底を一層強化し、組織的な指導と対応ができる雰囲気と体制を整備していく。 ・教育相談体制の充実を図るべく、SCや外部関係諸機関との連携を一層強化し、問題を抱える生徒に対して、組織として対応連携できる体制づくりの確立を図っていく。 ・各種検査からわかる生徒の状況を教員間で共有し、生徒への対応へ活かしていく。

<p>図書館活動 (研修部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用促進と生徒の読書意欲の向上 ・情報・学習センターとしての図書館の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出者数、貸出冊数の目標を設定する。(年間500人、6000冊) ・図書委員会の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数は昨年と比較して、5746冊→5600冊、(12月末現在)と減少気味だが、貸出実人数は541人→515人と少々減少傾向であった。授業での課題本を借りる生徒が今年度は少なかった影響かと思われる。だが今年度目標の年間500人も無事達成し、貸出6000冊も年度末までに達成可能だと思われる。 ・12月に開催した第1回ビブリオバトルは発表者7人が各自のオススメ本のPRをしてくれた。初めての試みではあったが、大好評で終わることができた。 ・図書委員も意欲的に活動しており、福引大会の景品作成などの有志を募ったところ10人以上も参加してくれて、今年はいより多くの景品が用意できた。 ・授業での図書館利用は、保健や探求などで調べ物をする際に使用されていた。授業で図書館を利用することで本の貸出にも大きく繋がるので、今後更にいろいろな授業で図書館を活用してもらえよう、よりよい環境作りに努めていきたい。
<p>職員研修 (研修部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修会、授業研究の機会の確保 ・初任研・教職経験者研修などの校内体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の現状にあった授業方法や生徒指導の在り方を研究できる研修を実施する。 ・あらかじめ年間の研修計画を作成し、各種研修が偏りなく実施できるように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修会は、関係分掌の協力により年間計画に従って4回実施した。教員個々の基本研修も年度当初に立てた計画通り、滞りなく終了できる見通しである。 ・初任者研修の研究授業は、予定時間を実施できる見通しである。参観者は、実施時間によっては限定されてしまった部分もあったが、関係教科にとどまらず多数の教員の参観が得られ、さまざまな角度から講評していただき、授業担当者にとって有意義で貴重なものとなった。 ・初任研、2年・5年・10年経験者研修は、今後も対象者が出ることを想定して、関係教科・分掌との連携を保ち、いつでも円滑に実施できる体制を維持していきたい。

<p>特別活動 (特別活動部)</p>	<p>生徒会活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・執行部会・各種委員会の活性化及び定例日の活用 ・生徒会執行部、各種委員会による行事の企画・運営とそのため組織作り ・生徒会室の整備、資料・記録の整理、ボランティア活動(校外清掃・募金運動など)の企画・運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動を生徒による自主的な活動にしようという意欲を持った生徒会執行部が、連日生徒会室を中心に活動し、各委員会も委員会顧問と連携をとりながら活発に活動できた。全体的に生徒会活動は充実しつつある。 ・夏季球技大会、名南祭においては、関係委員会や職員の皆さんの協力により、無事実施できた。また、各委員会の組織的な動きもできつつある。昨年度に比べて、委員会全体が主体的に動けるようになってきた。 ・ボランティア活動(校外清掃・募金運動など)も定着しつつある。今後は、年間を通じてボランティア等を意識できる活動も考えていきたい。 ・来年度入学定員が1クラス減に伴って、生徒会予算が減額になる。また、来年度から3年間は毎年減額になるので、生徒会予算の見直しが必要である。
<p>保健部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校外から持ち込んだものは極力持ち帰るように働きかける(ゴミの減量化)。 ・環境に配慮し、ゴミの分別状況の向上を図る。 ・トイレ環境の美化に努める(トイレの正しい利用方法の普及・徹底と清掃の充実)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別回収の意識を高め、教室での分別回収を徹底する。 ・年間に美化委員会を数回開き、委員の仕事を徹底させる。 ・分別回収に対する生徒及び教職員の意識高揚のため、掲示物を整備し、呼びかけを充実させる。 ・生徒(特活部)に働きかけ、生徒の自主活動を通じて美化意識を高めていく。 ・必要に応じ、可能な範囲で、施設・用具の充実を図る ・校門付近で配られるチラシ・パンフレット類の受け取りについての指導を徹底させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、外部からゴミとなるようなものを持ち込まない、持ち帰るという今までの姿勢を徹底し、ゴミの分別・減量化に更に取り組む。 ・教員の現場指導があつて、生徒の清掃習慣の定着・習慣化が図られるので、今ある体制をより充実させていく。 ・飲料水容器の処理、回収方法についても、年度途中で美化委員会の活動を通じて改善することができた。
<p>総合評価</p>	<p>重点目標については、各分掌とも意欲的に取り組み、おおむね成果を上げることができた。世代交代を意識して、伝統の継承と改善、新たな取り組みのバランスも取れつつある。今後も状況に応じた柔軟な取り組みを進めたい。</p>		

